

魅力ある地域づくり

組織名 いしのくちほぜんかい
石ノ口保全会

位置： 田布施町大字宿井 対象面積： 6.5 h a

◆ 地域の現状等

今後の農業従事者の減少等による農地荒廃を防ぐために平成 23 年度より始まる国営緊急農地再編整備事業南周防地区の受益に入っており、地区内の親密なる連携が必要となるために当事業への取組をしている。

◆ 活動内容等

農地の用水源確保のために受益者、地区内の美化等自然環境への配慮のために自治会、白寿会、婦人会、子供会が活動の輪を広げている。

◆ 効果

まず農地（畦畔法面）の草刈りが各人毎に実施されることにより、病虫害駆除等への弊害が起きていたが、一定期限内の実施により計画的な稲作管理が出来易くなった。また地区内の美化作業（クリーン作戦）により住民の話し合いの場、子供達と大人の交流の場が出来る様になった。

◆ 将来の展望

この事業の継続を願い、地域の面整備を行って食料の確保及び自然環境に配慮した農業を目指し若者の定住が図れる地域とするための活動組織としたいと考える。



地域が一体となって

組織名 大原を守る会

位置： 柳井市日積 対象面積： 26 h a

◆ 地域の現状等

私達の地区は、中山間地で海拔 40~60m位で海まで最短 6 k mに位置しています。年齢は 60 才までは地区外勤務又は転出されています。残った 60 才~90 才代の人で頑張っております。そのため土地は荒廃のきざしが見え活気の無い地区です。10 数年前に中山間取組みを始めようという話も出ましたが条件が合わないので取組を止めたことがあります。

この度は、ほ場整備を行ないことになり、そこに農地・水・環境保全対策に取り組もうという声掛けがあり、検討の結果取り組むことになりました。

最初はどのようにして立ち上げたら良いのか全く分からないため、行政にお願いして、説明、指導を受けながら立ち上げる時は自治会を通してようやく立ち上げることが出来ました。

進行については、役員を取り決め、これは地域が広いので自治会と同じ 3 地区に分けて、地区よりバランス良く選出しました。

交付金の使い方については、お金ではなく保全資材を配布することに決め保全資材の種類を 7 品目程度とし、それぞれ数量を決め、注文、購入し参加された人へ作業に見合った配布を行っています。何を行うかでは、水路の保全、農道の保全、用地へレンゲ植え、道辺に花植え管理を行います。

今年度からは、一斉作業後に弁当を配布し皆さんで楽しく食事をしました。

そのため範囲内の草ぼうぼうは無くすことが出来き、皆さん同志の会話も多くなりました。



未来へ残そう 住みよい自然！

組織名 おおぞちいき 大祖地域の自然と環境を守る会

位置：柳井市新庄 対象面積：20ha

◇ 地域の現状等

長年に亘り農業用施設等は放置状態が続いてきており、圃場整備や補修・改修等が行われていませんので農道は狭くて、亀裂や段差、凸凹の箇所が沢山あります。また、路肩は50年以上も前に石垣で築いた所があり、重い車や農業機械の通行で崩れかけている箇所がありますが、この事業の予算で対応できるような状況ではありません。この事業に取り組みを始めてから、極一部、急を要するもの・破損が激しく改修の利用効果が高い箇所から改修等を実施しています。

◇ 活動内容等

当地域にある4つの自治会の協力を得て、「農道・水路の草刈清掃、泥上げ等」1年に9回実施しています。

地域内には、花壇を2か所設置し、6月と11月に花の苗の植替え等を実施しています。

また、土建用の重機を使用し、技術や経験を要するような改修工事等の際は、業者委託で改修等を実施しています。

◇ 効果

この事業に取り組み後は、農家と非農家の交流が深まり、「農道・水路の草刈清掃、泥上げ等」「花壇の植付けや管理」の活動は、参加人数が年々増えてきており、農家より非農家の参加人数の方が多いことがあります。

営農においても、農家相互の作業応援、農業機械の貸借等が行われるようになりつつあり、非農家の退職者が自発的に無報酬で高齢農家等の営農作業に協力してくださる方が複数おられるようになりました。

◇ 将来の展望

現在、地域の農業を支えている方の殆どが高齢で、しかも他の地区の方が多い状態です。地域内の農家で農業を支

えてくれる人材の育成が急務ですが、今のところ農家の後継者で、しっかりと農業に取り組もうという

姿勢の者がみえてきておりません。このままでは、農家が自分の農地の管理を放棄するようなことにもなり兼ねないので、非農家の退職者の方等の協力も得て、農地や環境を守る活動を進めて行く必要がありますが、それには先ず農家が、自分の農地や農業機械・施設等を他人に触って欲しくないというような考え方では実現は困難で、農家の意識改革が最も重要だと考えます。これらが理解され、実施・拡充されて行けば展望が開けるのではないかと考えています。



学校・家庭・地域が連携して美しい環境保全を達成しよう！

組織名 おおほのかんきょうほぜんたい
大波野環境保全隊

位置：熊毛郡田布施町大波野 対象面積 79 h a

・地域の現状

当地区は昭和 53 年に田布施町、柳井市にまたがる大規模なほ場整備を実施した地区ですが、山口県の南東に位置し昔から雨量の少ない所です。従って、ため池、ボーリング井戸などに頼っています。ため池用水路も老朽化しあちこちで水漏れが発生し、のり面などの痛みも増え、排水路の泥の堆積も問題です。平成 19 年よりこの事業に参加して地域の環境保全を行っています。

・活動内容等

以前からあるため池組合や東田布施小学校 P T C A 活動と連携し、用水路の保全、環境部門ではホタルの幼虫の放流、ホタル観察会、田んぼの生き物調査、川の生き物調査、田植え体験、稲刈り体験などを行います。さらに地域の草刈り、のり面の補修、堆積した排水路の泥上げなど実施しています。



・効果

ため池用水路の水漏れで困っていた住民も補修により安心しました。環境部門も学校より積極的に参加され川のゴミ拾いもして頂けましたし、田んぼ、川に対する馴染みも子どもたちにうかがえ環境の大切さを感じたようです。温暖化のせい草の伸び方が凄く刈っても追いつかない状況で各地を刈っています。のり面の補修は独自のアイデアでマサ土とセメントを 5：1 で混ぜて補修しましたが若干草に負けてしまいました。



・将来の展望

今まで話す機会の無かった人たちがこの活動を通じて顔なじみになり地域を越えてコミュニケーションがとれたのが素晴らしい。地域力アップに貢献している。子どもから年配者まで連携して将来の後継者を繋ぐ架け橋的な活動を行いたいと思います。

ふるさとの自然を未来へつなごう

組織名 おおざとちいき まもるかい 大里地域のふるさとを守る会

位置：柳井市日積大里地域一帯 対象面積：42.6ha



◆ 地域の現状等

柳井市北東部の中山間地域で平成17年、大里南、平成18年大里地区の圃場整備事業が完成した地域です。農地集積を機会に「5つの自治会」「大里地域農用地利用調整組合」「柳井市土地改良区」「法人あいさいの里」と連携をとりながら地域の環境保全事業に取り組んでいます。

◆ 活動内容等

「法人あいさいの里」が取り組んでいる耕作地周辺の状況等について連携をとりながら役員会をもち作業計画を実行している

- 1 農用地の開水路の点検、修理、周辺の草刈り、水路の土砂上げ
- 2 農道の点検、補修工事、草刈り
- 3 畦畔の補修工事
- 4 法面に景観植物の植え付け（シバザクラ）
- 5 外来種（ジャンボタニシ）の駆除

◆ 効果

本地域には5つの自治会があり、広範囲の上しかも高齢化、過疎化が進み農地集積ができて荒れ地になるのではないかと懸念しておりましたが、本対策に取り組むに当たり5つの自治会、自治会長を通じ、自主参加を呼びかけて環境整備に取り組んでいます。年々減るのではないかと感じていたのですが、地域住民の環境に対する意識は向上しており現在も30数名の方々が協力して従事している現状です。

◆ 将来の展望

圃場整備事業後、年数も浅く大きな補修箇所もなく「法人あいさいの里」をはじめ他の諸機関と連携を取りながら、本対策を有効活用して「住みたくなる地域」として地域住民と協力しながら活動を展開していきたいと思っています

「寄りようてやろーじゃー」

組織名 地方下集落環境保全会

位置： 熊毛郡平生町曾根地方 対象面積： 2.2ha

○ 地域の現状

当地区は平成10年度に圃場整備を完了しました。農業者構成員7名、対象面積2.2haで県下は勿論全国的にも珍しい小チームだと思います。

当平生町では先発チームで、文字通り山椒は小粒でもピリリと辛いガッチリしたチームだと自負しています。

他間にもれず農業者の高齢化の進展には頭を痛めているところです。

○ 活動内容等

当地区では農業者と自治会とが緊密に連携して地域の環境整備に努めています。

又、地域ボランティア『昭和天王会』(18名)が地域のあらゆる行事について積極的に参加して地域をリードすることで農村環境向上運動を盛り上げております。

○ 効果

従前集落の中を流れる川について、川岸の草や川底のごみ土砂などの増加で、年一度の清掃では追いつかない状況でした。

特にクレソンが異常繁茂して川面を覆いつくす有様でしたが、本運動の推進で清掃活動の回数が増えたことにより綺麗な川がよみがえりホタルも飛び交う環境へと改善されました。

○ 将来への展望

当地区は昔から一致団結協力する風土が培われていましたが、本活動を通じて更に相乗効果が期待できると思っています。

農業従事者の高齢化は避けることの出来ない現実で、この先の課題はいっぱいありますが地域の知恵と力を生かして集落全体で支えあう方策を模索してゆきたいと考えます。



未来につなぐ中西地区の里づくり

組織名 なかにしほぜんかい 中西保全会

位置： 田布施町中西地区 対象面積： 18.7 h a

◆ 地域の現状等

当地区は、来年度あたりから具体的な圃場整備工事の着手に入れる予定です。平成20年度からこの対策を有効に利用して、農家・非農家又子どもを含めて連携をとりながら、地域保全に取り組んでいます。

◆ 活動内容

中西地区は4つの部落で構成されており、活動内容は、各部落ごとに独自に活動しています。

中西のため池は1つありますが、竹尾川水系と国木川水系を主体に管理しており、各部落ごとに農地・水向上活動を実施しています。しかし、環境・美化活動の一環として行っている中西花壇の手入れは、中西地区の各部落の持ち回りで実施しています。



西迫地区



岸田地区



河原田地区



田縫地区

◆ 効果

各部落ごとの独自の活動ですが、この取り組みにより、中西自治会としての会合も多くなり、子供達も含め地域全体で環境を守っていこうとする意識や農村環境への関心が高まってきています。

◆ 将来の展望

今後、活動を更に発展的に進めていくことにより、地域住民も楽しみながら活動を展開し、「農村や安心・安全について」皆で語り、ふれ合いながら、中西地区の「活動＝ふれあいの場」を増やしていけたらと思っています。

支え合い・助け合いながら「きずな」を深め 地域が一体となって自治会づくり

組織名 日向平環境保全会

位置： 平生町大字大野南 対象面積： 2h a

◆ 地域の現状等

日向平の棚田は、平生町大野南の山間に広がっており背景には大星山に建設された風力発電所の巨大な風車も見渡せる風光明媚な地域である。当該地区は、中山間地域という営農条件の不利な地区にも関わらず継続して稲作が営まれており、農地・水・環境保全向上対策や中山間地域直接支払等を活用した棚田保全にも取り組んでいる。これらの活動により保存されている棚田は、平成21年度には「やまぐちの棚田20選」にも選定されており、今後も継続した棚田保全活動が見込まれるところである。



◆ 活動内容等及び効果

少子高齢化が進む中、地域の青年が中心となって、「日向平浪漫夢倶楽部^{ひなたびらろまんゆめくらぶ}」を結成し、「農地・水・環境保全向上対策事業」や「中山間地域直接支払制度」などの交付金を有効に利用して、棚田に連絡する農道や水路などの草刈りや補修の他、休耕された棚田での牛の放牧やレンゲの植付けなど、地域の財産である棚田の保全活動を精力的に展開している。また、日向平集落では、家庭で不要になった鯉のぼり約30匹を利用した、「鯉のぼり祭り」や、3世代交流による「ソーメン流し・焼肉会」の他、地域で捕獲したイノシシ肉を利用した「バーベキュー大会」など、様々な交流活動も盛んに行っており、このたびの「やまぐち棚田20選」への選定を契機に、地域の活性化に向けた取組が、より一層、活発化し今後も期待される。

◆ 将来の展望

- ・ 集落や棚田に連絡する農道や水路や河川などの草刈りや補修などによる景観形成
- ・ 耕作放棄地の竹林伐採
- ・ レンゲ畑やコスモスによる景観づくり
- ・ 地域での3世代交流イベント開催（鯉のぼり祭り、夏のソーメン流し、焼肉会、駅伝大会参加、高齢者のための健康ランド3世代交流、冬のイノシシ祭りなど）

「農村生活環境」を皆で守っていきこう！

組織名 尾林水土里を守る会

位置：柳井市余田 対象面積：39.2ha

◆ 地域の現状

本地域は、明治時代に区画整理をおこない柳井市の中でも農業の盛んな地域です。しかし、近年は農業後継者不足、高齢化が進み営農組合を立ち上げ何とか営農を維持しています。そこで、本事業に取り組むことによって非農業者との連帯を深め、皆で農村生活環境を守っていきこうと取り組んでいます。

◆ 活動内容等

農業者が主体となり、農道の砂利補充、舗装、水路の補修などの活動に取り組んでいます。公共性の高い道路・水路の草刈り清掃、景観植物の植生・管理等は、自治会と連帯し実施しています。

また、学校の子供達には、稲作学習で田植え、稲刈りなどを体験してもらっています。

◆ 効果

最初は、「農業者のみの活動になるのでは？」と不安でしたが、年2回実施している水路の「クリーン作戦」には、農業者だけでなく多数の地域の非農業者も参加しています。「地域環境を守ろう」という意識が、毎年向上してきていることを感じています。

◆ 将来の展望

今後、この対策により築かれた地域住民の連帯により、地域の農村生活環境を守って行ききっかけになればいいと考えています。

また、子供達の多くは非農家であり「稲作体験学習」で水田の保水力、環境浄化力などを学習してもらい、農村環境を守っていく大切さを学んでくれたらいいと考えています。



遊休農地を少なくする

組織名 もんじゅ さと まもるかい
文珠の里を守る会

位置： 大島郡周防大島町三蒲中央部 対象面積： 18ha

◆ 地域の現状等

文珠山のふもと、三蒲川地域に広がる平野部、田畑を対象とした活動である。事務主体は「文珠倶楽部」が担当し、農業者参加32名である

◆ 活動内容等

- ・ 田（水稻一期作）
- ・ 畑（柑橘類）の土地保全管理
- ・ 水田に利用する用排水路維持管理、
泥あげ、河川の掃除 除草
- ・ 共同井戸の維持管理
- ・ 遊休農地の利用
（ひまわり、コスモス、さつまいも等の植栽）
- ・ 農道の改修、補修

◆ 効果

- ・ 数人の農業者の努力により主要道（文珠線県道）
周辺の荒廃地が少なくなった
- ・ 河川の景観が少しよくなったかな

◆ 将来の展望

- ・ 高齢化が著しい
- ・ 3年後も維持ができるかどうか
- ・ 後継者が全くといっていいほど居ない



「木地」を皆で守ろう

組織名 木地を守る会

位置： 田布施町木地 対象面積： 15ha

◆ 地域の現状等

当地区は、国営ほ場整備事業実施予定地です。ほ場整備事業実施後は法人組織を目標に取り組んでいます。しかし現在高齢化が進み、担い手不足が深刻な課題となっています。そこでこの対策を有効に利用し農家・非農家を含め連携をとり地域全体で農地・水・環境向上に取り組んでいます。



◆ 活動内容等

地区を4地区に分け妙法寺ため池と御蔵戸川を主体に管理し又定期的に草刈り・水回り等それぞれ連携し、実施し、農地・水向上活動を実施しています。また蛭が多く出るため蛭の幼虫の住みよい環境づくりを実施しています。



◆ 効果

この対策を始めた時は、農家だけの参加になるのではと懸念していましたが非農家の方々が多く参加されています。地域のことは地域の人達が守るという意識が高まっています。又この対策に加入していない地区と比べると「木地」地区の環境のよさが一目見れば分かるようになりました。

◆ 将来の展望

今後、この対策を更に進めることにより他の地区の見本となるようになればいいと考えています。また地域の環境保全の一環として木地地区が蛭の名所になればと思っています。

次世代に農地を引き継ごう

組織名 おおさこ環境保全会

位置： 柳井市伊陸 対象面積： 13.7 h a

◆ 地域の現状等

7年先には集落（大迫）から小学生が1人もいなくなる。
農地を保全するにも法人の構成員が高齢化し維持できなくなる。

◆ 活動内容等

次の世代にどうしたら農地を引き渡すことが出来るかみんなで考え場としていろいろなサークルをつくる。



地域みんなの力で、農地を守ろう！

組織名 にしき環境保全会

位置： 柳井市伊陸 対象面積： 15.9ha

当地区も、他に劣らず高齢化が進み大変な時期を迎えようとしております。現に3年前、中規模農家(3ha)の耕作者(57才)が病気で倒れられ、その年は、地区内で応急的に作業を致しましたが、翌年より耕作者が見つからず探すのに苦勞を致しました。現在では他地区の人に応援していただいて、耕作を続けています。以前より、法人化や農地・水、中山間の取り組みを推進して参りましたが、地区内の調整がつかず困っておりました。

一昨年より女性グループが立ち上がり地区の取りまとめを行い、昨年より農地・水と中山間の取り組みを立ち上げました。メンバーは42名でその内女性は24名(高齢者85才)です。女性の参加率は98%です。

女性の担当は、地区内の環境整備で法面に景観作物を植える。道水路の点検活動を行う。

男性の担当は、指摘の上がった道水路の補修活動を行う。

中山間と合併式で実施、予算が限られているので市役所に援助して頂きました。

昨年の活動は、(1)景観作物を植える (2)水路の補修(1か所)(3)農道の舗装作業(280m)を完了しました。

今年も引き続き女性を中心に共同作業活動の活発化を図って行きます。

尚、引き続いて農地・水・環境保全向上対策の継続を国にお願い致します。



美しい集落と棚田をまもろう！

組織名 やまびこ会

位置： 柳井市大畠大久保 対象面積： 11.5 h a

◆ 地域の現状等

当地区は1戸当たりの耕作面積も少なく女性の高齢化が多く棚田の管理に苦慮しております。環境保全では特に草刈り作業を非農家、消防団の協力をえながら取り組んでいます。

◆ 活動内容等

主な活動は南北2本の水系の管理、又枝線を含めた保全管理及び農道の土砂の浸蝕防止の舗装と道路側溝の整備に取り組んでいます。又美しい集落の活動として菜の花、アジサイの植え付けと地域の老人クラブ若妻会の協力で花壇の整備管理を実施しています
外来種（ジャンボタニシ）の駆除の取り組みをいたしました。

◆ 効果

草刈り、水路の管理（土砂上げ）も1人での能率は悪いけど共同作業の楽しさを感じてもらえ、今では草刈りの活動を年間3回を目指そうとの環境への意識が高まってきました
外来種（ジャンボタニシ）の駆除はこの5年間ですべて処理しました。（3ヶ所）

◆ 将来の展望

今出来上がった共同作業の意識、美しい集落作り又農道、河川の管理の必要性（中山間だけに）を感じられている住民の環境保全を維持していきたいです。（できそうです。）



地域を上げてふる里の農地を守ろう

みやがはらためいけかんきょうほぜんくみあい
組織名 宮ヶ原ため池環境保全組合

位置：柳井市伊陸宮ヶ原 対象面積：21ha

◆ 地域の現状等

平成23年度からの国営ほ場整備計画に取り組んでいて、ため池と農地を改善し地域営農も計画中

◆ 活動内容等

宮ヶ原ため池水系が主体に管理し、トラタン村酒米営農組合の取り組みで環境の美化や地域の人と他地域の人との交流をかねて農業体験活動のイベント等を行っている。

◆ 効果

環境の美化を通じて地域の人が協力する様になり、農業体験を通して他地域の人との交流が出来る様になった。

◆ 将来の展望

国営圃場整備完成後、農業生産法人を立ち上げる予定になっているので、今後、農地・水・環境を守るためにこの制度を利用して地域の発展を目標に活動して行きたい。



みんなで守ろう 我が故郷を

組織名 へたくのうちかんきょうせいびかつどうそしき
戸田区農地環境整備活動組織

位置： 大島郡周防大島町戸田 対象面積： 55.9ha

◆ 地域の現状等

限界集落とささやかれる時期となり、何とか故郷を現状維持できないものかと思案していたが、幸いにもこの事業を知り、早速集落全域住民に集まって頂き、賛否をとって、了解を得、平成19年よりこの事業に取り組みました。

(田 2.8ha、畑 52.4ha、草地 0.7ha、開水路 2km、ため池 9ヶ所、農道 10km)

◆ 活動内容等

農家、非農家を問わず、集落全体で農地を主体で、農道、開水路、ため池等の環境美化を守るため、自治会、老人クラブ、婦人会、消防団等が連携をとりながら活動をすすめています。



◆ 効果

高齢化の人が多いため最初は不安に包まれたが、回を重ねるごとに、出来る事を出来る人が、モットウに活動を推進してきたら気持ちが通じ合い、和気あいあいとなり冗談も出るし、世間話もでき楽しい活動事業となっている。人間関係も環境も良くなり、皆喜んでいきます！

子供が開水路（草刈り後）にてエビ、メダカ等に興味をしめすようになった！



◆ 将来の展望

まだまだ継続を願いたいが高齢のため約束が出来ないのが現状である。

共同活動での地域保全

組織名 うしろえきほぜんかい
後浴保全会

位置： 柳井市伊陸竹常 対象面積： 3.9ha

◆ 地域の現状等

当地区は、ほ場整備事業も未実施地域で急傾斜
耕田も多く、生活道、農道も未整備に加え高齢
化が進み休耕田化してきているのが現状です。
21年度よりこの制度を有効に利用して地域保
全に取り組んでいます。



◆ 活動内容等

共同活動での農道、水路の整備、農地の草刈り、
景観作物づくり等（五世帯）



◆ 効果

- 共同活動（五世帯ぐるみ）での作業意識が多
少向上した
- 一世帯、帰農者として稲作を始めた

◆ 将来の展望

当初予想した共同作業での活動（組織活動）の
むつかしさを痛感した。

当地区の地域環境、高齢化、世帯数等を鑑みる
と本制度を有効活用しての地域保全向上には一
考を要するよう思う。



みんなで作る「美しいふる里づくり」

組織名 轟・葛岡環境保全会

位置： 田布施町城南 対象面積： 13.2ha

◆ 地域の現状等

当地区は平成18年度から国営ほ場整備事業を推進しています。近く着工の予定に向かっています。平成19年度から環境保全事業に取り組み、農家・非農家の連携を取りながら「美しい里づくり」を目指しています。

◆ 活動内容等

現在の活動内容は、ほ場整備事業着工まで、遊休農地の拡大防止に努めるとともに、「美しい」「きれいな」里づくりに向かって活動しています。自治会全員による奇数月のクリーン作戦、年3回のつつじ土手の管理、年1回の遊休農地の草刈りを農家・非農家を問わず、参加して実施しています。



◆ 効果

現活動内容は、ほ場整備工事着工までの活動内容です。遊休農地拡大防止とほ場整備推進意欲の高揚に協力しています。

◆ 将来の展望

近く、ほ場整備事業が着工される予定です。当地域は国営ほ場整備事業の1団地です。面的整備が完了後は地区民全員による農道管理や、農道の法面に「芝サクラ」等を植栽して「美しいふる里づくり」に努めていきたい。

未来につなごう「ホタルが棲める自然環境」

組織名 しゅくいかんきょうほぜんかい
宿井環境保全会

位置： 熊毛郡田布施町宿井 対象面積： 12.8 h a

・地域の現状

当地域においても高齢化が進み、農地の荒廃が進んでいる。また、後継者も少なく、将来的な展望も望めない。

現在、国営圃場整備の計画が進んでいるが、平成 20 年度よりこの対策を有効に利用して、自治会などと連携しながら地域保全に取り組んでいる。

・活動内容

別所ため池水系と森国・京国の2つの農地を主体とした管理のもとで、それぞれが連携し、農地・水向上活動を実施している。

また、この地域はホタルが生息し「ホタルが棲める自然環境」を守るため地域、公民館、小学校などが連携し、河川の清掃、ホタル幼虫の飼育・放流など農村環境向上活動を行っている。



・効果

こうした活動に取り組むことにより地域全体で環境保全を行う意識が高められ、積極的に活動に参加する人が増えた。

また、子どもたちはホタルの幼虫の観察やホタルの放流を通して「ホタルの棲む自然環境」の大切を学び、後世に伝承し自らが活動に参加するものと思う。



・将来の展望

石城山から注がれる恵みの水は、遠い昔から宿井の里に水田を作り実りを私たちに与えてくれた。また、ホタルが棲める素晴らしい自然環境も与えてくれた。高齢化が進むこうした中でも地域全体がこの対策をさらに発展的に展開すれば、先代から受け継いだ農地を守りホタルが棲める素晴らしい自然環境が未来へとつなげると確信する。



引き継ごうより良い環境次世代へ!!

組織名 うるうだかんきようほぜん 潤田環境保全会チーム

位置： 山口県熊毛郡田布施町潤田

対象面積： 7.58 h a

◆ 地域の現状

当地域は、平成23年度より国営ほ場整備が計画実施される地域となっています。しかしながら大半がサラリーマン家庭の兼業農家であり、高齢化が進み農地利用が減少し、地域の深刻な課題となりつつあります。そこで、平成21年度よりこの対策を有効に利用して、農家・非農家を含め連携をとりながら、地域保全に取り組んでいます。

◆ 活動内容等

当地域は、農業を専業としている家庭は少なく、兼業が1/2、残りの1/2が非農家の集団ですが、以前より地域活動に対しての意識を育くむ活動が実施され、それぞれ連携して農地・水向上活動を実施しています。特に遊休地を利用し春のショウブ、秋のコスモス等の世話を地域一丸で実施し鑑賞できる安らぎの空間を栽培してきています。

◆ 効果

当初より地域住民の賛同と協力を得ることができ、草刈りやゴミ拾い等の活動毎に多数の方々が参加しています。地域全体で今ある環境をより良いものとし、将来へ引き継いでいこうとする意識のもと活動が進められてきています。この活動も2年を経過し、地域住民の環境保全に関する意識は向上してきており、遊休地をポケットパークをイメージして、見て安らげる、ショウブやコスモス等の花の育成で効果をあげてきています。



◆ 将来の展望

今後とも、これらの活動を継承し展開していくことで、今ある環境を次世代に引き継いでいくとともに、私たちの地域でも問題となりつつある、高齢者が進んで参加し地域貢献と親睦のできる活動組織となるよう考えています。今後とも、本対策を有効活用して、定期的な草刈りやゴミ拾いを実施するとともに、ショウブやコスモス等の花と緑による景観づくりを継続して、皆で楽しみながら活動をしていきたいと考えています。

全世帯で地域保全

組織名 小郡環境保全会

位置： 熊毛郡平生町

対象面積： 9 h a

◆ 地域の現状等

当地域は、全世帯 14 戸の小さな集落です！平成 21 年度より全世帯が加入して、この事業を行っています。この事業を有効に利用して環境保全に努めています。

◆ 活動内容等

ため池と水路、農道を主体に管理、保全をし、農地・水・向上活動を実施しています。また、自治会、女性クラブが環境、美化活動で環境向上を実施しています。

◆ 効果

全世帯が協力し合い地域全体で環境を守っていこうという意識が高まった。

◆ 将来の展望

今後、この事業を継続していくことにより、この地域の環境保全をはかり、住みよい地域に努めていく。



守ろう！活かそう！小行司の資源



こぎょうじみどり
組織名 小行司水土里チーム

位置： 田布施町北部、飛地 対象面積： 31.6ha

◆ 地域の現状等

地形的には典型的な中山間地域で、2集落の約130人で構成されています。土地改良区と農事組合法人小行司の設立も並行して行いました。

活動組織は、他の4組織、里の山小行司、市明、郷東自治会、小行司婦人会、小行司健康グループで構成されています。一人が3~4の組織に入っている。

◆ 活動内容等

組合法人が農地95%を利用権設定している。基礎部分の活動として5月上旬、8月上旬に農地、水路、道路の保全（遊休農地の防止、泥上げ、砂利補充）

農地水向上活動、農地や施設の法面やコンクリート構造物の補修、鳥獣害防護柵、農村環境向上活動、生態系保全、町指定天然記念物ギフチョウの保護活動、水質保全、資源循環、水田の濁水管理、用水の反復利用、婦人会の発案で無リン洗剤の導入、洗剤不要たわしの活用。

◆ 効果

小行司地域は元元ままとまりの良い集落であって農地・水・環境保全向上活動に取組、自治会、高齢者、子供達など多数の方々が参加して地域全体で環境を守っていこうとするようになりました。

◆ 将来の展望

この対策を更に進めて行ってもらいたい、6団体で構成員同士が手を取りあって行なう。



残したい 心のふる里 命の里山

かみたぶせ おおたかんきょうほせん
組織名 上田布施・大田環境保全チーム

位置： 田布施町上田布施及び川西 対象面積： 30.4ha

◆ 地域の現状等

当地区は、県営ほ場整備を完了した3つの換地区からなっています。中山間の地形でありながら中山間農地の指定外でイノシシの出没の含め、耕作をする事は大きな労力を必要とする所です。現在60才前後から70才、80才の人の農地への責任と愛着という善意によりかろうじて耕作が続けられているという状況ですが、農地の法面等は大変几帳面に刈られ、学校教育と一緒にになって古代米アートをやったりという事は出来ている所です。



◆ 活動内容等

3つの換地区がそれぞれ

- ①地域コミュニティー活動と一体となった美化活動を中心とする所
- ②集落営農を中心として地域との連携をはかっている地域
- ③3集落からの集合圃場の為、共同活動は個々に行ない、労賃や実費弁償を行なう地域コミュニティーをはかる所では花壇を作り年間を通じて協力体制を作っている。

学校教育では職場体験等を行ない古代米アートなどで環境という事により多くの人気づいてもらえるためのイベントの場としての農地をとらえてマスコミ等うまく乗ってきて楽しみの場としている。

集落営農では、イノシシの柵を作る事でイノシシ対策がとられている。

◆ 効果

地域コミュニティーが水路道路までをカバーできる様になり花壇なども手が行きとどく様になった。肥料の購入等もできる様になった。

イノシシの柵は町の補助で行う部分、この事業で行う部分、両方とも一度に作れる程の金額になっていないが、早く全周を囲う事ができた。被害もほとんどなくなった。山との外周を囲った。

「古代米アートの所ネ」といわれるくらいになってきた。今までも草刈り、溝そうじはしたのだからという事で支払われた賃金等からだしてもらって、農地の保全会に積み立てをはじめ、大水による災害の県の事業による補修工事に前払い金として活用する事ができた。

◆ 将来の展望

住・食の環境としての里山の大切さはみんなわかってはいるが、どう保全するかという事になると今のままだと自然消滅いう事になりかねない。農の楽しさを知らせ、重要さを知ってもらい、国民全部で支える体制を作って行く事へのPRを進めつつ、うまく制度を作ってもらおうべくもうひとふんばりしてみたいものだ。

“団結力”を合言葉に

組織名 上八里山を守ろう会

位置：柳井市伊保庄 対象面積：4.49ha

地域の現状

当地域は、高齢化、各農地への農道の不便さ、農道の傷み、水路の傷み等、農業関係者の高齢化と共に、若者の農業離れが深刻な課題となっています。現在、この農地、水、環境保全向上対策活動の支援を受け、地域の農家や非農家の協力で、地域保全の一部が確保できているような状況です。

活動内容等

農道、水路、水門の整備やその周辺の草刈、水路の泥上げ、草花の耕作等、自然循環機能を維持・増進する作用もあり、出来るだけ多くの参加者での活動を実施しています。



効果

団体での作業は地域の関心が高まり、実際の草刈や整備後は地域の環境保全に取り組む意識が少しずつ向上してきたように思われます。



将来の展望

高齢化した組織メンバーの脱会を最小限に食い止め、若者への積極的な活動の参加を地域で高める。地域の環境保全の一環として菜の花やチューリップの作付けに加え、その他の景観草花の追加を検討しています。

農地景観を次代につなげよう

せとかんきょうほぜんかい
組織名 瀬戸環境保全会

位置： 熊毛郡田布施町 対象面積： 16ha

◆ 地域の現状

当地域は山陽本線と県道に挟まれた平らな水田地帯ですが、農道が狭く、取水する田布施川の井手堰とコンクリート水路の老朽化が進んでいます。また、耕作者の高齢化が進み若年の後継者もほとんど無い状況です。

そのため休耕田が増え、水路、農道の保守管理と休耕田の除草による環境保全が望まれています。そこで、平成20年秋よりこの対策を利用して、地域保全に取り組んでいます。

◆ 活動内容等

初年度冬、休耕田のハンマーナイフモア5台動員しての草刈と焼却、農道凹み部への土入れ、用水路周辺の除草を行い景観の向上と水田耕作地の利便性向上に努めました。

2年目は、休耕田の一部を耕してれんげ、菜の花の栽培、春先の休耕田の除草剤散布によるセイタカアワダチソウとスイバの撲滅、れんげ、菜の花の跡地にコスモスの種まき、秋草刈りを実施しました。三年目の今年度も前年同様の活動を続け、今後もこのパターンの継続を考えています。



◆ 効果

春と秋に休耕田の除草を実施することで、荒廃した休耕田を見ることなく景観が向上した。また、農道、水路の保守管理により水田耕作の利便性が向上しました。

景観作物の栽培は2年目の菜の花、れんげは成功、コスモスは雑草に負け失敗。三年目の菜の花、れんげも順調に育っています。今年もコスモスの栽培に挑戦します。

除草共同作業の実施により区域内の交流が増え農地保全意識も向上しました。

地域が鉄道と県道周辺住宅地の裏側にあり、内部に細い町道が一本通っているだけのため、景観植物の見学は電車の旅客が中心です。

◆ 将来の展望

上述したように、耕作者の高齢化と後継者不足で水田の継続は難しい状況です。

しかし、県道バイパス計画とほ場整備計画が進行中で、ほ場整備実施後は営農事業者に農地を集約して耕作をお願いすることとなります。

休耕田はなくなりますが、県道、農道の法面、排水路の法面の維持管理、道路公園周辺の維持管理活動は必要のため、この対策事業を活用し環境保全を継続してゆくつもりです。